

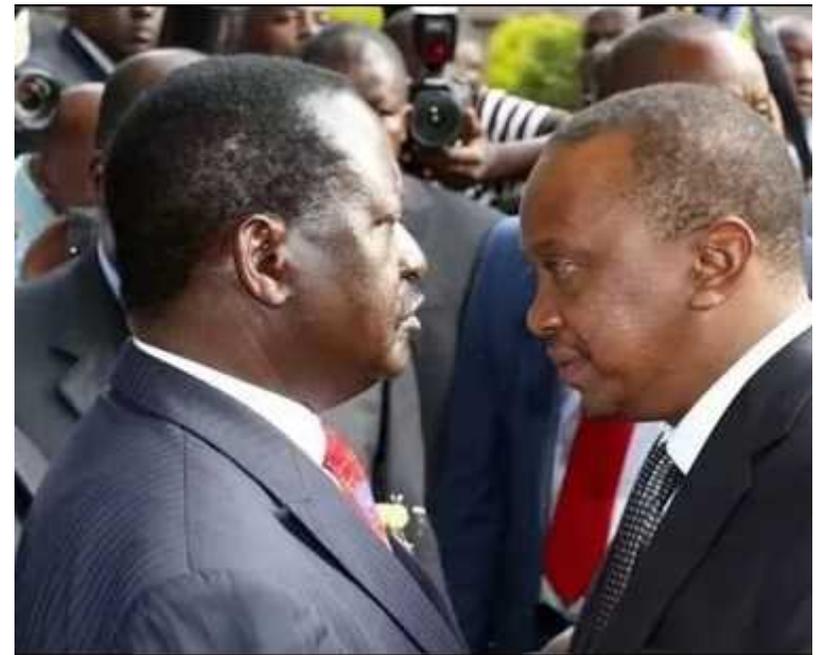
# 選挙治安情勢・安全対策

在ケニア日本国大使館

1. 最近の選挙治安情勢・見通し

2. 暴動発生トリガー

3. 安全対策



# 1. 最近の選挙治安情勢・見通し



# 主な選挙関連事件(7月15日以降)

## ①7月15日(土)ナイロビ・ダンドーラ地区

ダンドーラ地区居住の与野党支持者が、お互いに「8月8日投票日前に、襲われたくないのなら、ダンドーラ地区から出て行け。」との内容のチラシを配布するなど、緊張が高まっている。

## ②7月15日(土)西部ホマベイ郡

郡議会議員選挙候補者が誘拐される事件が発生した。

## ③7月16日(日)ナイロビ・マザレスラム

マザレスラム居住の与野党支持者が、お互いに8月8日の投票日前に、マザレスラムから立ち退くよう主張し、緊張が高まっている。

## ④7月20日(木)西部ブンゴマ郡

ブンゴマ郡政治家の支持者1名が銃殺された。

## ⑤7月21日(金)西部ホマベイ郡

選挙に関連したヘイトスピーチを行ったとして、政府関係者が逮捕された。

## ⑥7月21日(金)西部ウアシングシュ郡

エルドレット地区で、対立する選挙支持者が衝突し、7人が負傷した。

## ⑦7月21日(金)西部ブンゴマ郡

ブンゴマ郡政治家の選挙運動員1名が銃殺。

## ⑧7月22日(土)北東部マンデラ郡

与党ジュビリーの集会で、与野党支持者が衝突し、多数の負傷者が出る事態へと発展した。

## ⑨7月22日(土)中部ライキピア郡

ライキピア郡北部選出の国会議員が、暴力活動を扇動したとして逮捕された。

## ⑩7月25日(水)西部ウアシングシュ郡

エルドレット地区で、対立する候補者の支持者が、脅迫チラシを配り緊張感が高まる。

## ⑪7月26日(水)北東部マンデラ郡

ライバル候補者の支持者が衝突し、多数が負傷。

## ⑫7月29日(土)西部キスム郡

若者5名が、キスム郡与党候補者の事務所を襲撃し3名負傷。

## ⑬7月29日(土)西部ウアシングシュ郡

ルト副大統領邸が襲撃され、警察官1名死亡、1名重傷。

## ⑭7月29日(土)西部ブンゴマ郡

ライバル候補者の支持者が衝突し、2名が負傷。

## ⑮7月31日(月)中部キアンプ郡

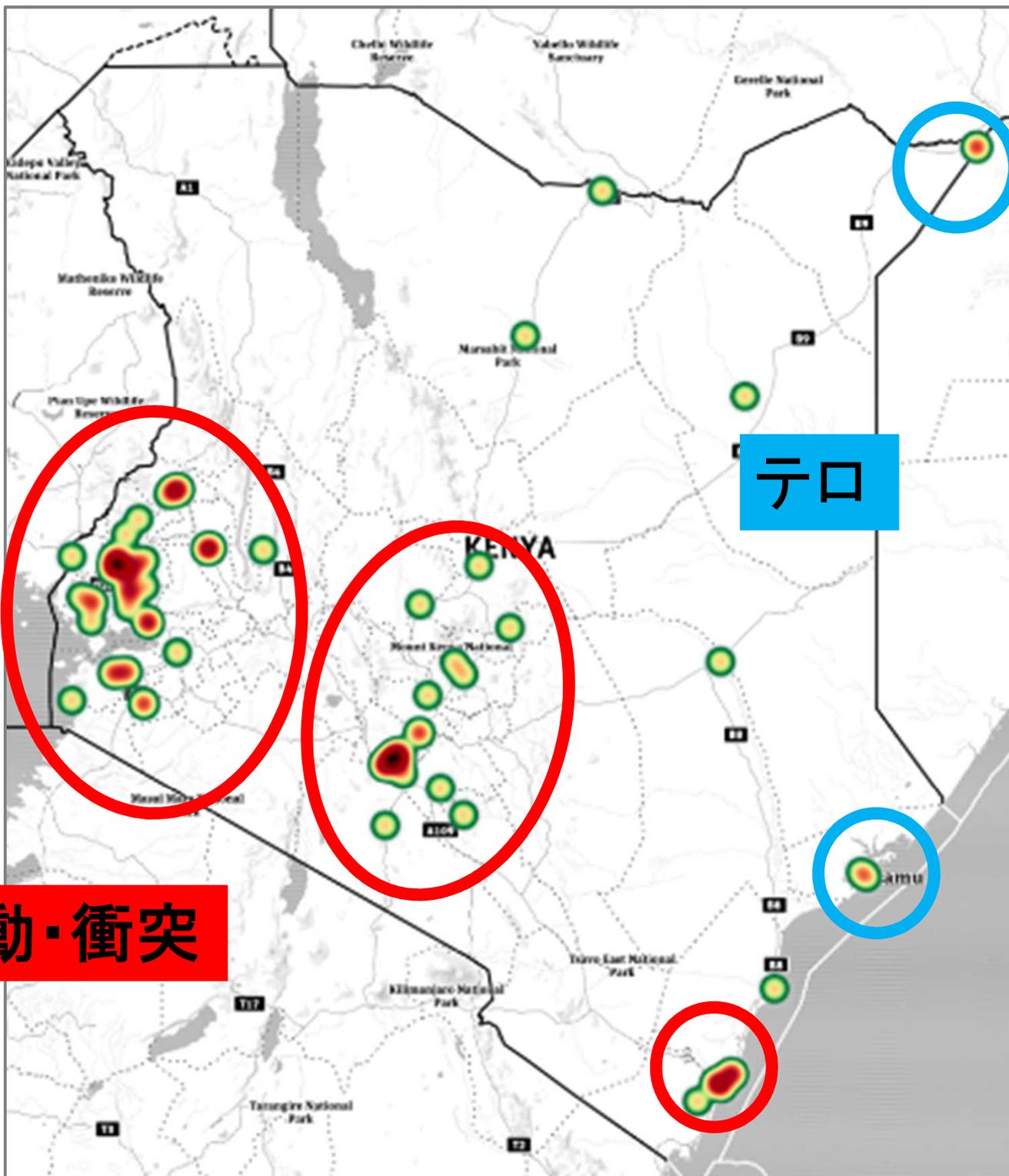
独立選挙委員会幹部と女性1名の遺体が、キアンプ郡キクユ森林で発見された。暗殺された可能性あり。

## ⑯8月1日(火)沿岸部モンバサ郡

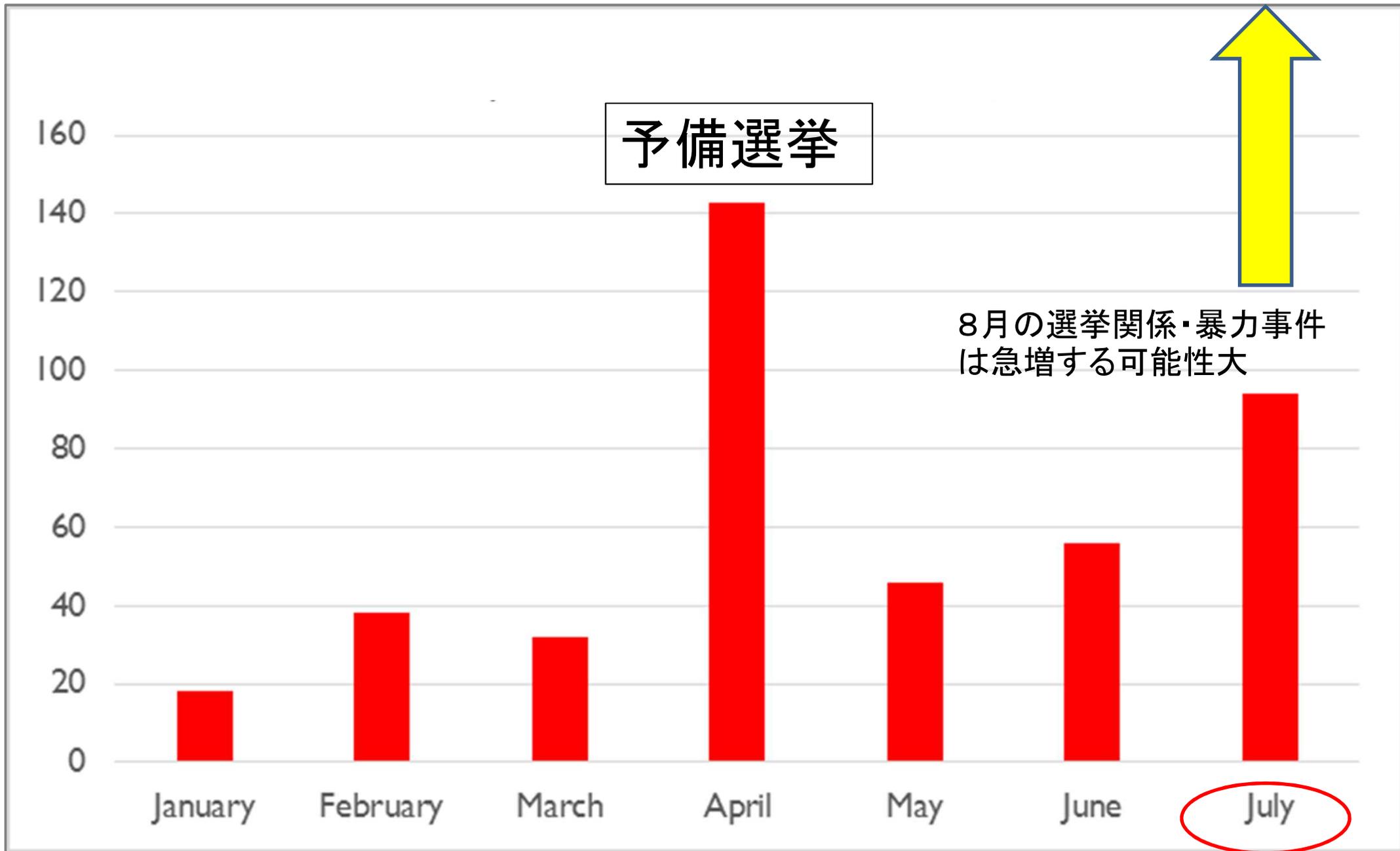
Joho候補とAwiti候補の支持者が衝突し、多数が負傷。



# 選挙暴力事件 発生場所 (7月中)

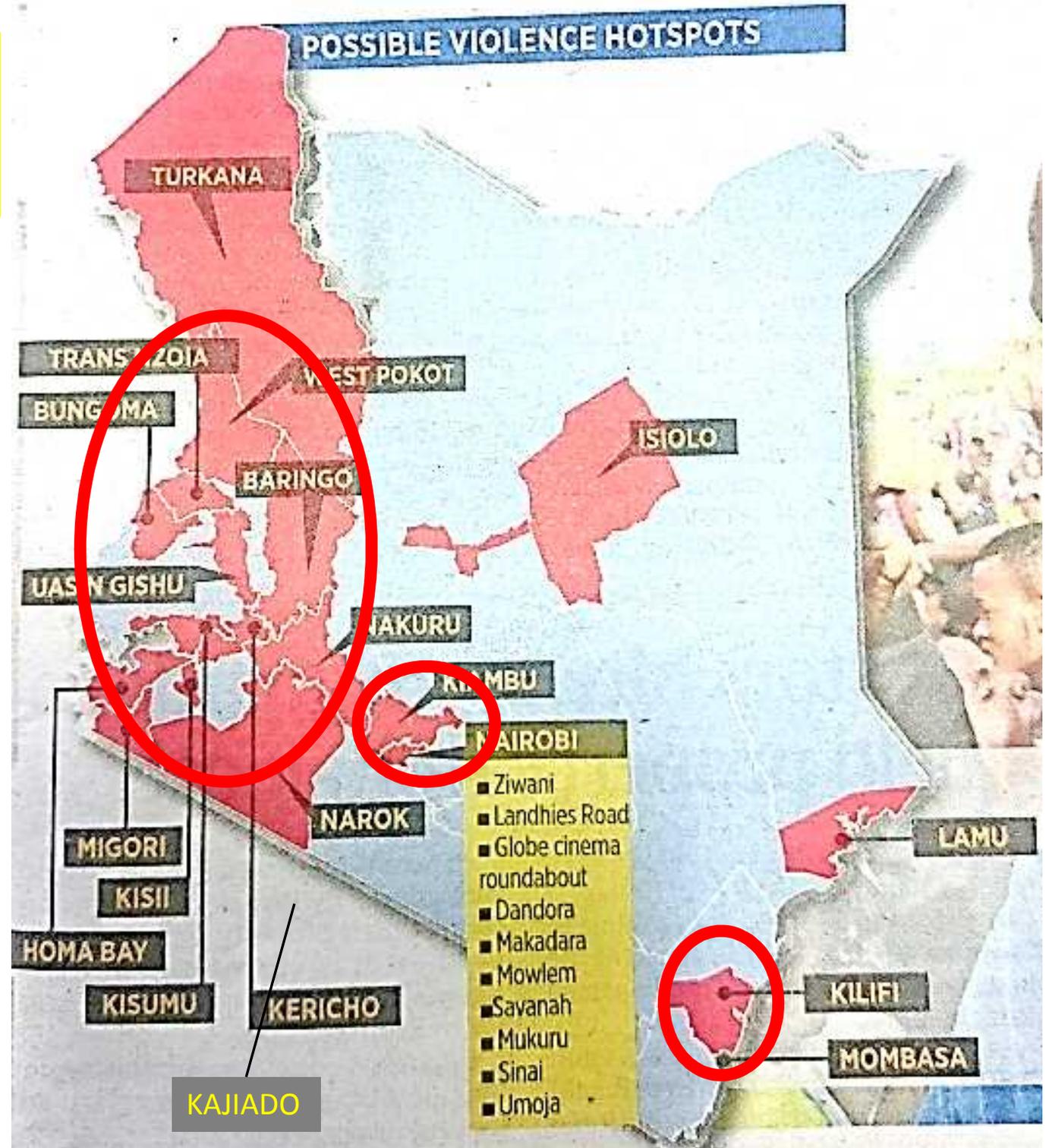


# 2017年中の選挙関係・暴力事件

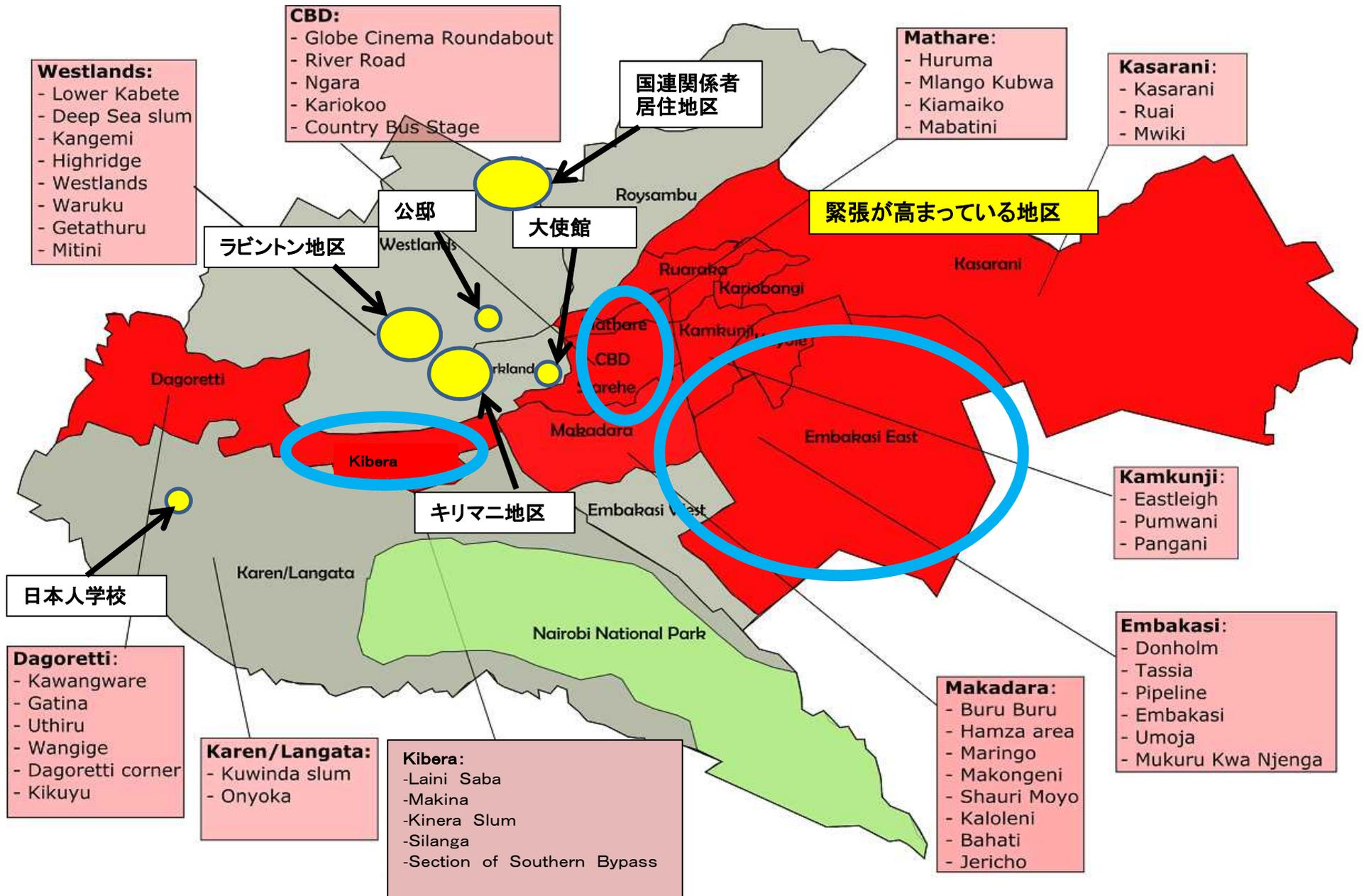


# ホットスポット予想

ケニア全土  
8月8日以降



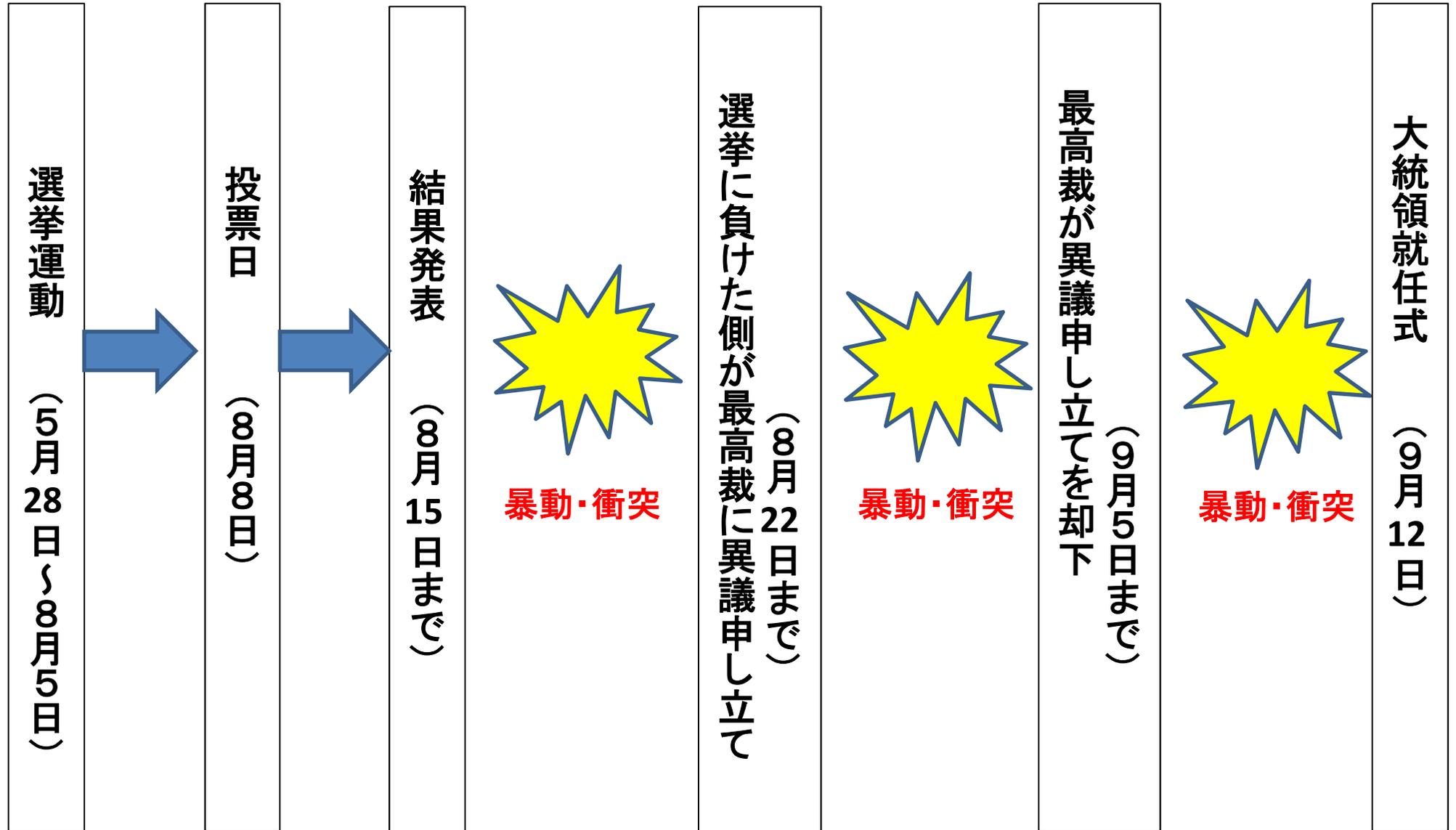
# ホットスポット予想(ナイロビ)



## 2. 暴動発生の特リガーと対策



# 選挙治安シナリオ予想(順調に進んだ場合)



# 暴動発生のトリガー

- ◎ 投票トラブル
- ◎ 不正行為
- ◎ 結果発表
- ◎ 結果発表の予想外の遅れ
- ◎ メディア
- ◎ 裁判所の判決
- ◎ 候補者への攻撃

# 暴動発生時に警戒すること

## ◎ 身体への攻撃

投石、鉄パイプ、パンガ、けん銃

## ◎ 財産被害

- 交通渋滞
- 押し込み強盗
- 強盗
- 食料・燃料不足



# 皆さんに起こり得るトラブル

- ◎ 緊急医療
- ◎ 行動制限
- ◎ 停電、断水
- ◎ 食料不足
- ◎ ガソリン不足
- ◎ 携帯電話、インターネットの不通
- ◎ 現金不足

# 解決方法

## 【緊急医療】

→ 医薬品・衛生品の備蓄、メディカル・ホットライン、メディカルレポート、保険関係書類

## 【行動制限】

→ 自宅待機、戸締まりの徹底、十分な備蓄、情報収集

## 【停電、断水】

→ 冷蔵庫で保存を有しない食料品・飲料水の備蓄、生活用水の保管  
ライター・ろうそく・懐中電灯、調理用ガスの予備ボンベ、ジェネレーター

## 【食料不足】

→ 家族の人数 × 10日分程度の備蓄

## 【ガソリン不足】

→ ガソリン満タン、ジェリーカン、地図、車両点検・整備

## 【携帯電話、インターネットの不通】

→ フル充電、予備バッテリー、スクラッチカード、車両からの充電、FMラジオ放送からの情報入手

## 【現金不足】

→ 現金(家族全員が10日間程度生活できる米ドル・ケニアシリング)



## **3. 安全对策**

# 大使館からの安全対策・お願い

## 1. 情報発信

- ホームページ(スポット情報)
- 領事メール(8月8日以降、毎日発信します)
- 緊急SMS

## 2. 安否確認

- ## 3. 邦人安全対策連絡協議会の開催(関係8団体代表参加)
- 原則2週間に1回開催

# 大使館からの安全対策・お願い

## 4. 「安全の手引き」の再確認

備蓄、基本姿勢、行動基準

## 5. 退避

(1) 退避のタイミング : 大使館からの情報提供

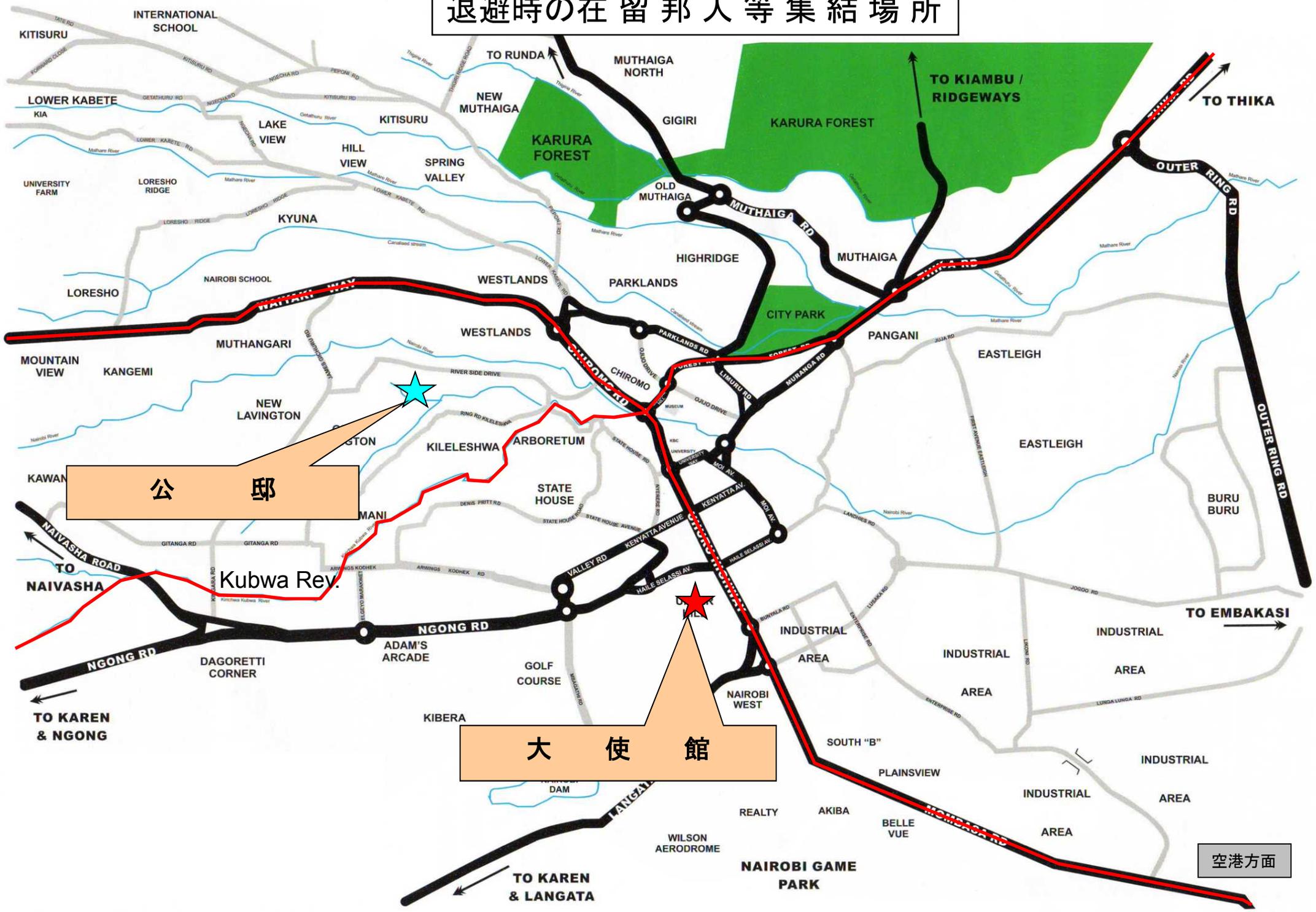
(2) 自主退避 : 商用便

(3) 大使館主導の退避(レベル4以降) : チャーター機等

(4) 集合場所 : 大使館、公邸

## 6. 医療(堀田医務官が説明)

# 退避時の在留邦人等集結場所



公 邸

Kubwa Rev.

大 使 館

空港方面

# ケニア総選挙における 緊急事態発生に備えた 安全の手引き (2017年6月現在)



## 【ケニア総選挙】

- ・ 選挙運動期間 : 5/28 ~ 8/5
- ・ 投票日 : 8/8
- ・ 公式結果発表 : 8/15まで
- ・ 新大統領就任式 : 8/29  
(9月、10月に、ずれ込む可能性あり)

## 在ケニア日本国大使館

住所 Mara Road, Upper Hill, Nairobi,  
Kenya

電話 +254-(0)20-2898000

FAX +254-(0)20-2898220

ホームページ

<http://www.ke.emb-japan.go.jp/>

たびレジ

<http://www.ezairyu.mofa.go.jp/tabireg/>

## ☆ 平時に準備しておくこと

### 1 旅券・在留届

- 旅券は、6か月以上の残存有効期間があるか確認して下さい。(6か月以下の方は、在ケニア大使館に対して旅券切替発給を申請して下さい。)
- 旅券の最終頁の「所持人記入欄」は漏れなく記載して下さい。空欄に血液型も記入して下さい。
- 在留届出や外務省「たびレジ」登録を確実に行って下さい。緊急事態が発生した場合、緊急一斉通報によるメールなど、安全に関する情報を自動的に大使館から受け取ることができます。

### 2 現金、クレジットカード

- 現金、クレジットカード、その他身分証明書を旅券とともに、すぐに持ち出せるよう保管して下さい。
- 現金は、家族全員が10日間程度生活できる米ドル及びケニアシリングを準備して下さい。

### 3 携帯電話

- 平素から携帯電話をフル充電して下さい。
- 十分なクレジットを確保して下さい。携帯電話のスクラッチカードを余分に確保して下さい。
- 携帯電話を肌身離さず携帯して下さい。

### 4 自動車

- 緊急時、自動車を利用することを想定して、常にガソリンを十分に入れ、地図等を常備して下さい。
- 自動車の故障がないように、平素から点検・整備を励行して下さい。

### 5 備蓄

- 水・食料品(冷蔵庫で保存を要しない食料)を家族の人数×10日間分程度備蓄して下さい。  
備蓄品例
  - ・ 飲料水: 1人当たり1日3リットル
  - ・ 主食: 米、パスタ、麺類等
  - ・ ノードル等インスタント食品
  - ・ 缶詰等
- トイレ、洗い物用としての水を確保して下さい。  
停電になると、水が使えない場合があるので、風呂やポリ容器等に水を保管して下さい。

### 6 医薬・衛生品

- 必要な医薬品や生理用品等を準備して下さい。
- 乳幼児関連物資(ミルク、オムツ等)を準備して下さい。
- 毛布・寝袋等の寝具、衣料品、トイレット・ペーパー等が十分にあるか確認して下さい。

### 7 生活用品

- ライター、マッチ、ろうそく、懐中電灯があるか確認して下さい。
- ラジオと予備電池を準備して下さい。
- 万能ナイフ、缶切り、調理用ガスの予備ボンベ等を準備して下さい。

### 8 緊急事態時の持ち出し携行品

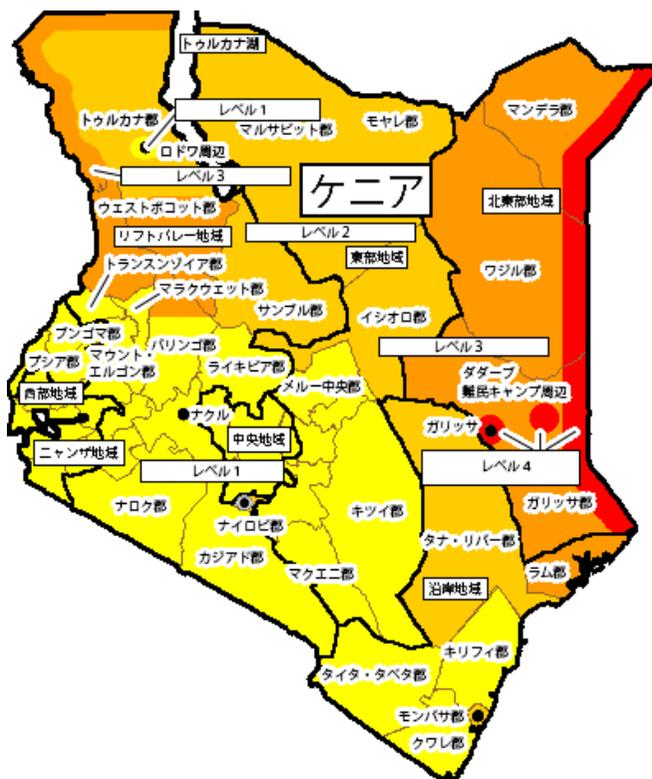
- 旅券
- 現金 ※ケニアシリングと米ドル
- クレジットカード・キャッシュカード
- その他身分証明書

## ☆ 基本姿勢

- 暴動が発生したら、自宅待機が基本。
- 自分の身は自分で守る。
- 新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から最新の情報を入手する。
- 大使館からの領事メール、緊急SMS、ホームページを随時チェックし、行動の指針とする。
- 有事に備えて、平時のうちから備蓄等の準備を確実にやる。
- 集会やデモが行われている場所には近付かない。
- スラムに近付かない。
- 選挙当日や、一部地域での暴動発生時は、全域で警察力が手薄になるので、強盗等の増加に警戒し、車に乗車している際もドアは確実に施錠し、自宅施錠も徹底する。
- 外出する際は、家族に行き先地を告げるとともに、徒歩での外出を極力避ける。
- スリや強盗被害を避けるため、マトツ（乗り合いバス）に乗らない。
- 選挙の混乱に乗じて、テロが発生するおそれがあることから、買い物は、混み合う時間帯を避ける。
- 不審な人物を発見した時は、速やかにその場から離れる。
- 爆発音・銃撃音を聞いたら・・・
  - ・伏せる→逃げる。
  - ・伏せる→身を隠す→逃げる
- テロ事件現場に近付かない(第2波攻撃のおそれ)。
- テロ事件発生時は、外出を避ける(同時多発テロのおそれ)。
- 大使館からの安否確認に速やかに回答する。

## ☆ 暴動に巻き込まれたら・・・

- 「自分の命以上に大事なものは無い」と肝に銘じ、絶対に暴徒や犯人に抵抗しない。
- 速やかに現場から離脱する。
- 犯罪被害やデモに巻き込まれ被害を受けた場合は、速やかに大使館に連絡する。



ケニア危険情報マップ

## ☆ 行動基準

在ケニア大使館は、邦人の皆様に対して、領事メールやホームページ等で、下記の行動基準を示します。

### 【レベル1：十分注意】

(情勢) 平和的なデモ・集会  
(対応) 各家庭・職場で、新聞、インターネット、テレビ、ラジオ等から情報収集を行い情勢の把握に努める。

### 【レベル2：不要不急の渡航中止】

(情勢) デモ・集会等での暴力衝突が増加  
(対応) 情勢の把握に努め、備蓄品を確保し、緊急時に備える。

### 【レベル3：渡航中止勧告】

(情勢) 暴力衝突が頻発し、与野党の大規模な衝突等が発生。  
(対応) 自主的な国外退避かケニア国内の安全な地域への退避を検討。残留者は、自宅待機を検討。いつでも退避できるよう準備を進める。

### 【レベル4①：退避勧告】

(情勢) 市民に危害が及び、生命・身体・財産への具体的な危険が存在。  
(対応) 外出を控え自宅待機。商用便等による国外退避、残留者は大使館との連絡体制を保持し、大使館及び大使公邸への避難を検討。

### 【レベル4②：退避勧告】

(情勢) 騒乱・内乱・クーデター等の発生及び外出禁止令が発出。  
(対応) 最終残留者は国外への退避体制に移行し、大使館の退避要領等に従い退避する。

# 行動基準

警戒区分		想定される状況（例示）	取るべき措置
レベル1	十分注意	与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。</li> </ul>
レベル2	不要不急の渡航中止	与野党支持者間や部族間の暴力事件の発生が目立つようになり、ケニア全土に波及する兆しがある。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、情勢の把握に努める。</li> <li>●<b>10日間程度</b>、家族全員が過ごすことができる食糧、水、医薬品、燃料等の<b>備蓄を確保</b>するとともに、緊急時に備えて、旅券や現金の準備、車両の整備等を行う。</li> </ul>
レベル3	渡航中止勧告 ※在留邦人への退避勧奨	ケニア全土で、暴力衝突が頻発し、与野党支持者間や部族間の大規模な衝突等が発生する。	<ul style="list-style-type: none"> <li>●引き続き、情勢の把握に努める。</li> <li>●自宅待機を検討し、いつでも退避できるよう準備を進める。</li> <li>●国内の安全な地域や国外への<b>自主的な退避を検討</b>する。家族のみでも退避させることを検討する。</li> <li>●残留者は、大使館や関係者に対して所在を明確にし、連絡体制を保持する。</li> </ul>

# 行動基準

警戒区分	想定される状況（例示）	取るべき措置
<p>レベル4 ①</p> <p>退避勧告 ※在留邦人の 退避勧告</p>	<p>与野党支持者間や部族間の衝突が暴動へと発展し、恒常的に市民に危害が及び、生命、身体及び財産への具体的な危険が存在する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● <b>外出を控え、自宅待機</b>するとともに、事態の把握に努め、状況に応じて直ちに退避できる体制を整える。</li> <li>● 治安が極度に悪化してきた場合は、予め指定した集結地（大使館・公邸等）へ避難し、身の安全を図るとともに、<b>退避に移行できる体制</b>をとる。 その際、緊急事態の持ち出し携行品（旅券、現金、クレジットガード及びその他の身分証明書等）、出国に必要な物、食糧、水、医薬品、燃料等、当面の生活に必要な物も携行する。</li> <li>● 退避が必要と判断された場合は、在留邦人は予め地域ごとに指定した集結地（大使館・公邸等）に集合し、車列を組み（警察の護衛のもと）、陸路で<b>国外に退避</b>する。<b>商用便が運行されていれば、空路での脱出</b>も視野に入れる。</li> <li>● 最終残留者は、大使館や関係者に対して、所在を明確にし、連絡体制を保持する。</li> </ul>
<p>レベル4 ②</p> <p>退避勧告 ※残留邦人・残留館員の退避</p>	<p>騒乱、内乱、クーデター等の発生及び外出禁止令、厳戒令等が発出され、行動規制が敷かれる。死傷者が続出する事態に陥る。</p>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 最終残留者は、国外への退避体制に移り、退避要領に従い、<b>退避を開始</b>する。</li> <li>● 退避が不可能な場合を想定し、大使館・公邸等における<b>立てこもりを視野にいれた準備</b>を行う。</li> </ul>

## 8月5日現在の警戒区分・取るべき措置

### ◎ 警戒区分

**レベル1: 十分注意**

### ◎ 情勢

与野党支持者間や部族間において、平和的なデモ・集会が行われ、小競り合い程度の暴力事件が発生するものの、他地域やケニア全土に波及する可能性はない。

### ◎ 取るべき措置

各家庭や職場で、新聞やテレビ等の報道から情報収集を行い、情勢の把握に努める。

### ◎ お願い

備蓄品や緊急時の持ちだし携行品を準備して下さい。